

第4学年 外国語活動学習指導案

指導者 横小路 聡

ALT Brian Long

1 単元名

What do you want? ほしいものは何かな? (Let's Try! 2 Unit 7)

2 単元について

○教材観

本単元の主なねらいは、食材の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむことと、欲しい食材などを“What do you want?”や“I want ~.”の表現を使って尋ねたり答えたりしてやり取りすることである。本単元の最終のゴールはオリジナルピザを紹介し合うことだが、本単元では特に、ゴールに向けて、十分なやり取りに重視した単元構成にする。児童は、これまでにUnit 2で天気を尋ねる表現“How’s the weather?”や遊びに誘う表現“Let’s ~.”を使いながら、友達を遊びに誘うためにやり取りをしたり、Unit 3で曜日の言い方や“play soccer”, “watch TV”など自分の生活に結びついた表現を使って、自分の好きな曜日とその理由を友達に紹介したりしてきた。本単元では、さらに食材の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現“What do you want?”, “I want ~.”に、やり取りを通して慣れ親しみながら、友達とコミュニケーションを図る楽しさを感じさせたい。

本単元では、お店屋さんとお客さんという場面設定でのやり取りを通して人気なピザ屋にするためにオリジナルピザを作り、できあがったピザを友達に紹介する活動をゴールとして設定する。これを通して、オリジナルピザを友達に紹介するために、自分の欲しい食材についてやり取りをするという明確な相手意識や目的意識を持って児童が学習できると考える。

○児童観

本学級の児童は3年生から外国語活動の時間が週に1時間になり、教科書をもとにチャンツやゲーム、友達とのやり取りを通して、自分の気持ちや1から20までの数の言い方、好きなものを尋ねたり答えたりする表現を学習してきた。4年生になり、これまで世界のさまざまな挨拶の仕方や遊びや天気、曜日の言い方などに慣れ親しんできた。1学期に行った外国語活動に関するアンケート結果を見ると、「英語の勉強が好きである」「英語の勉強は大切である」と考えている児童が多く見受けられる。一方で、「自分が英語を使って何ができればいいのか、目標が分かって、英語の学習をしていると思う」「単元の終わりに、授業で学んだことを使って、友達や先生と英語で話したり、自分のことを発表したりしていると思う」と感じていない児童が他の項目に比べて多いことが分かった。そのため、本単元では、「オリジナルピザを友達に紹介する」というゴールに向けて、各授業で児童に身に付けさせたいことを明確にして児童と共有していく。お店屋さんとお客さんという場面設定でのやり取りを通して、自分の目的に合ったオリジナルピザを作り、できあがったピザを友達に紹介する活動を設ける。そうすることで、児童は、目標を理解した上で、英語に向かうことができると考える。児童が、「習った表現が使えた」「伝わった」と感じ、児童が英語で話したり、発表したりすることの楽しさを実感できるように、やり取りの時間を大事にしていく。

○指導観

単元のゴールには、児童の「伝えたい」「知りたい」という思いで展開される題材を設定し、児童の興味・関心を高めるような活動が必要である。そこで、ピザ屋さんで人気が出るようなオリジナルピザを作り、それを友達に紹介する活動を設定する。

第4時の本時では、オリジナルピザを作るためにお店屋さんごっこをペアで行う。本単元で学習する食材の言い方、相手の欲しいものを尋ねる表現“What do you want?”、自分の欲しいものを伝える表現“I want ~.”に加え、相手が特定のことを好きかどうか尋ねる表現“Do you like ~?”や数を尋ねる表現“How many?”など、児童がこれまでに慣れ親しんできた表現を用いて活動に取り組む。

本時では次の三つのことに重点を置いて指導していく。まず、ICTの活用である。児童がタブレット端末を操作しながら、視覚的に分かりやすくやり取りや発表を工夫する中で、学習への意欲を高めることができるようにする。次に、児童が自信をもって取り組めることである。そのために、本単元では表現や複数形の音にこだわり過ぎず、話せた喜びやできたという実感を味わわせていきたい。最後に、高学年に向けて英語のコミュニケーションに慣れ親しませることである。慣れない英語でも安心して会話のやり取りができ、失敗しても大丈夫というクラスの温かい雰囲気作りに努めていきたい。

なお、本単元では中間指導にも重点を置く。中間指導の観点としては、伝え合う相手を意識したコミュニケーションが成り立つように、反応を確かめたり、感じたりしながら、伝え合う姿を価値づけていきたい。

3 「CHALLENGEリスト」の形での学習到達目標(第4学年)

参考：山梨県版 CHALLENGE リスト

聞くこと イ	話すこと [やり取り] ウ
ゆっくりはっきりと話された際によく知っている人や物、学校や家での出来事や日常生活で起こることなどを聞いて、基礎的な表現の意味がわかるようにする。	学級の友達、先生、ALT等のサポートを受けて、自分や相手のことや身の回りの物等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり答えたりするようにする。

※「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4 単元の目標

自分の目的に合ったメニューを紹介するために、相手に配慮しながら、果物や野菜などの食材について、欲しいものを尋ね合ったり、選んだものを伝え合ったりする。

5 言語材料

○表現

What do you want? I want (onions), please.

How many? (Two), please.

Here you are. Thank you.

This is (my pizza).

I have (onions). I don't have (onions).

○語彙

果物 (fruits, melons, peaches, bananas, apples, pineapples, cherries, strawberries, oranges, kiwi fruits)

野菜 (vegetables, onions, mushrooms, green peppers, tomatoes, cabbages, corn, carrots, cucumbers, potatoes, paprikas)

食べ物 (sausages, shrimps, octopus, clams, salami, squid)

[既出] What's this? It's (a fruit). Do you have (a pen)? Do you like (blue)?

Yes, I do. / No, I don't. [I have / don't have] 数 (1~20)

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。	自分の目的に合ったメニューを紹介するために、相手に配慮しながら、欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合っている。	自分の目的に合ったメニューを紹介するために、相手に配慮しながら、欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合おうとしている。

7 単元の指導と評価の計画(全5時間)

時	目標 (◆) 主な活動 (○) 誌面化されている活動 (【 】)	評 価			◎評価規準〈評価方法〉
		知 技	思 判 表	態 度	
1	◆食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○Small Talk “How many?” ○単元のめあてを確認する ・人気なピザ屋にするためにオリジナルピザを作り、できあがったピザを友達に紹介するという単元のゴールを示す。 ○何があるかな。 ・児童用テキスト p.26, 27 を見て、食材の言い方を確認する。 【Let's Watch and Think】 p.27 ・世界の市場の様子を見て、世界にはさまざまな食材があること、自分たちに身近な食べ物もあることを知る。 ○教科書に載っている食材の言い方を練習する。				※目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。
2	◆欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○Small Talk “I like ~.” 【Let's Listen 1】 p.28 ・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。 ○欲しい物を尋ねたり要求したりする言い方	○			知 食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。

	<p>を確認する。</p> <p>・お店で食材を注文するやり取りを見せて、欲しい物を尋ねたり要求したりする言い方を確認する。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>○スターカードゲーム</p>				
3	<p>◆パフェについて、欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合う。</p> <p>○Small Talk “Do you like ~?”</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>【Activity 1】 p.28</p> <p>・どんなパフェを作るかを考える。</p> <p>・オリジナルパフェを作るために、欲しいものを尋ねたり要求したりして伝え合う。</p>		○	○	主 相手に配慮しながら、欲しい食材などを尋ねたり要求したりしようとしている。
4 本 時	<p>◆食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○Small Talk “What do you want?”</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>【Activity 2】 p.29</p> <p>・どんなピザを作るかを考え、やり取りをして食材を集めてオリジナルピザを作る。</p>		○	○	<p>思 相手に配慮しながら、欲しい食材などを尋ね合ったり要求し合ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>主 相手に配慮しながら、欲しい食材などを尋ね合ったり要求し合ったりしようとしている。</p>
5	<p>◆相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介しようとする。</p> <p>○ 【Let's Chant】 Do you have a pen? P.19</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>【Let's Listen 2】 p.29</p> <p>・音声を聞いて缶詰のイラストと文字を線で結ぶ。</p> <p>【Activity 2】 p.29</p> <p>・前時に作成したオリジナルピザを紹介する。</p>		○	○	<p>思 相手に配慮しながら、考えたメニューを紹介し合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>主 相手に配慮しながら、考えたメニューを紹介し合おうとしている。</p>

8 本時の学習

- (1) 日時 令和4年10月20日(木) 5校時(13:55~14:40)
- (2) 場所 外国語教室
- (3) 目標 オリジナルピザを作るために、相手に配慮しながら、欲しい食材を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

(4) 展開例

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
20	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶をする ○Small Talk <ul style="list-style-type: none"> ・HRT, ALT の話を聞きながら, 既習表現を使ってやり取りをする。 ・Small Talk の内容を確認する。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて オリジナルピザを作るために, たずねたり答えたりしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○フラッシュカードで使用する食材の言い方を確認する。 ○オリジナルピザを決める。 ○タブレット端末（Google スライド）を使って, 食材の言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて オリジナルピザを作るために, たずねたり答えたりしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が本時に活用できるように, フラッシュカードを使って既習の表現を確認する。 ・考えられそうなテーマをいくつか例示する。 	
20	<ul style="list-style-type: none"> ○【Activity】 ・お店屋さんごっこの進め方を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈想定される児童のやり取り例〉（A お店屋さん B お客さん）</p> <p>A/B: Hello.</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: I want（生地）.</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: I want（食材）, please.</p> <p>A: How many?</p> <p>B: （数）, please.</p> <p>A: OK.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士でペアを作り, お客さんとお店屋さんに分かれてやり取りをする。 ・お店屋さんは, 欲しい生地・食材は何か, いくつ欲しいのかをお客 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRT がお店屋さん役, ALT がお客さん役でデモンストレーションを見せる。 ・やり取りの内容を児童に尋ねながら確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈想定される児童のやり取り例〉（A お店屋さん B お客さん）</p> <p>A/B: Hello.</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: I want（生地）.</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: I want（食材）, please.</p> <p>A: How many?</p> <p>B: （数）, please.</p> <p>A: OK.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に加わりながら, 必要に応じて支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎オリジナルピザを作るために, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 ◎オリジナルピザを作るために, 必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉

	<p>さんに尋ねる。注文をもとにタブレット端末 (Jamboard) を操作し、ピザを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間で区切る。 ・前半が終わったところで、いくつかのペアが全体の前でやり取りを発表する。 ・後半はペアで役割を交換して同様にやり取りをする。 ・後半が終わったところで、いくつかのペアが全体の前でやり取りを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りの中でよかった点を伝える。上手くいかなかった点があれば共有し、どうすればいいかを考える。 <div data-bbox="707 488 1161 846" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【中間指導の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクト ・ジェスチャー ・声の大きさ ・話す速さ ・リアクション ・繰り返す、聞き返す </div>	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートを記入する。 ○挨拶をする。 		

(5) 評価規準

おおむね満足できる状況

知識・技能(2時目で評価)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>相手が欲しいものを “What do you want?” を使って尋ねたり, “I want ~.” を使って答えたりしている。</p>	<p>オリジナルピザをつくるために, 相手に配慮しながら, 欲しい食材などを尋ね合ったり, 要求し合ったりしている。</p>	<p>オリジナルピザを作るために, 相手に配慮しながら, 欲しい食材などを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。</p>